

イエス・キリストの再臨の時に、生者と死者に何が起きるだろうか。

新約聖書 セミナリー手引き

1 テサロニケ 4：13 - 18 を読み、イエスの再臨の時に義人に何が起きるか、分かることを見つけてください。再臨の時に、亡くなっている人と、まだ生きている人々とに起きる、出来事のの違いに注目してください。(これらの節の「眠っている人々」という言葉は、死者を指しています。)

- この聖句の中で、どこが重要だと思いましたか。

次に教義と聖約 88：96 - 98 を読み、この出来事についてさらに分かることがないか、探してください。(この世でイエス・キリストを受け入れなかった人々に何が起きるか学ぶには、99 - 101 節を読むとよいでしょう。)

- 新たにどのような洞察を得ましたか。

次のような真理を見つけられたかもしれません。再臨の前に亡くなった忠実な聖徒たちは、キリストが再び来られる時に復活する。

「引き上げられ」(1 テサロニケ 4：17) という言葉は、再臨の際に義人が集められて、救い主にお会いすることを指しています。多くのキリスト教徒は、この時を指すのに「歓喜」rapture(「引き上げられる」という意味のラテン語)という言葉を使います。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は、この神聖な出来事について、次のように述べています。



「イエスの再臨を思い描くと、わたしはキリストのことをもっと話したくなります。いつ来られるかは分かりませんが、イエスの再臨は息をのむ出来事になるでしょう。天の雲の中を尊厳と輝きを持ってすべての聖なる天使とともに来られるのです。少数ではなく、すべ

ての天使です。バレンタインカードにあるラファエルの描いた紅色の頬のケルビムのことではありません。わたしが言っているのは、何世紀にもわたって働いている天使のことです。遣わされてししの口を閉ざし、獄の戸を開き、長い間待ち望まれた救い主の誕生を告げ、ゲツセマネで主を慰め、主が天に昇られたことを主の弟子たちに告げた天使、そして、輝かしい福音の回復の幕を開けた天使のことなのです。

幕のどちらの側からにせよ、わたしたちが引き上げられて主にまみえることを想像できますか。これは義人に対する主の約束です。このすばらしい経験はわたしたちの魂に永遠に刻まれます。」(ニール・L・アンダーセン「キリストのことを話す」『リアホナ』2020年11月号、91)

少し時間を取って、救い主の再臨の時に義人の中に数えられることが、どのようなことかを想像してみてください。

- その日、あなたはどのような考えや気持ちを抱くでしょうか。救い主が来られる時に、主はあなたに主の側に加わることを望んでおられると知ると、どのように感じますか。将来のその出来事を想像することは、今のあなたにどのような影響を与えますか。

1 テサロニケ 4：18 で、パウロは聖徒たちに「これらの言葉をもって互に慰め合いなさい」と勧めました。

- パウロの教えによって、あなたはどのような慰めを受けますか。あなたが将来直面するかもしれない状況において、それらはどのような慰めになるでしょうか。

末日聖徒

イエス・キリスト
教会